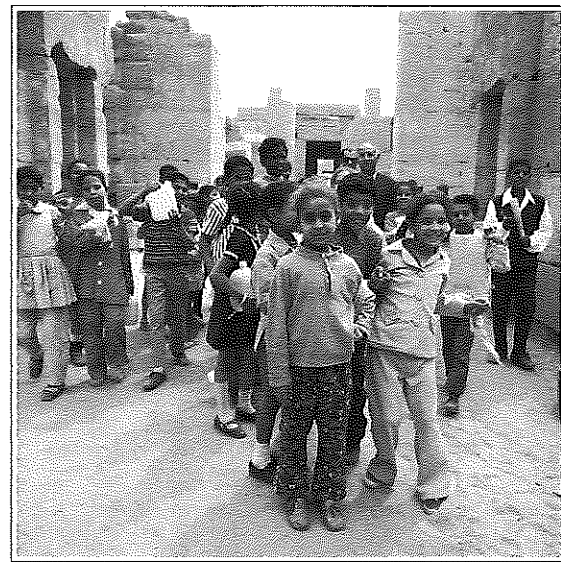


徹し、イスラエルとの和平条約を破棄して戦争が現実味を帯びた場合、軍がクーデタに打って出る危険である。この可能性については、飯塚正人「ムスリム同胞団政権は危険か？」(ASAHI 中東マガジン、二〇一一年二月一日、<http://astand.asahi.com/magazine/middleeast/column/2011021100007.html>)を参照。

(15) 出川展恒「エジプト議会選挙 イスラーム主義勢力圧勝の影響は」(『季刊アラブ』一四〇号、二〇一二年)、一二頁。



特集

大災害と文明の転換

宗教的マイノリティからみた一月二五日革命

——コプト・キリスト教徒の不安と期待

岩崎真紀

いわさき まき

一 エジプト一月二五日革命⁽¹⁾と宗教

エジプトでは、二〇一一年初頭に起きたチュニジアでの民衆革命に刺激された青年たちがインターネットを通じて政権打倒を呼びかけ、それに呼応した大規模な群衆が一月二五日にカイロの中心地タハリール広場を埋め尽くした。反体制デモは一過性の動きに終わらず、その後もタハリール広場では大規模な集会が繰り返され、アレクサンドリア、スエズ、マンスーラ等のデルタ地方の都市でも同様の動きが見られた。そして最初のデモからわずか一八日目の二月一日、ムバーラク大統領は辞任し、三〇年にわたる独裁政権が終焉を迎えた。

宗教という観点から見た場合、今回革命を経験した他のほとんどのアラブ諸国同様、エジプトも抗議活動が始まった当初、宗教性は前面に出ていなかった。⁽²⁾ ツイッターやフェイスブックといったソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)を利用しデモを呼びかけた都市の青年層を中心とする運動体「四月六日運動」や「我らは皆ハリード・サイード」は既存の宗教勢力とはつながりを持っておらず、穏健派と言われるイスラーム団体ムスリム同胞団もデモ発生当初は一連の抗議行動に距離を取っており、のちにデモ参加を表明してからもイスラーム的スローガンを前面に出すことはなかった。⁽³⁾ タハリール広場では、エジプトの多数派であるスンナ派ムスリ

ムと総人口の約一〇%を占める少数派のコプト・キリスト教徒の連帯が報じられ、宗教の差異を越えたエジプト国民の団結が謳われた。現場を訪れたジャーナリストの田原牧はその状況をつぎのように書いている。

十字架のネックレスを首から掲げたコプト教徒と、クルアーン（聖典コーラン）を抱えたムスリムが親しげに挨拶している光景も見た。話しかけると、ヤーセルと名乗るムスリムは「自由を求めることに、キリスト教徒とムスリムの間で隔たりはない」と厳かに語り、隣のコプト教徒のミッシェルがそれにうなずいた。⁽⁴⁾

革命中のタハリール広場のこのような状況に対して大稔哲也は「束の間の解放区、宗教・社会階層の差異を問わぬ空間が生まれ、年齢・性差すらも越えようとする傾向が見られた。（中略）ターナーの言うコミュニケーションに近い状況」が出現したと分析している。⁽⁵⁾

しかしながら、ムバラクが退陣し、革命が一定の成功を収めた現在のエジプトでは、宗教を軸とした集団の

った事象が挙げられる。

本稿では、エジプトの宗教的マイノリティの中心的存在であるコプト・キリスト教徒が現代エジプトの政治・社会のなかで置かれてきた状況を概観するとともに、彼らが一月二五日革命とそれにもなう社会変化をどのように受け止めているのか考察する。

なお、本稿は二〇〇四年七月より筆者が上エジプト（エジプト南部）ミニヤ県で継続的行なっているコプト・キリスト教徒とムスリムの民衆的宗教実践に関する参与観察やインタビューと、二〇一一年七月にミニヤ県のコプト・キリスト教徒に対して集中的に行なった一月二五日革命とその後の社会状況に関するインタビュー調査に基づいている。

二 現代エジプト社会におけるコプト・キリスト教徒の立場

コプトとは

「[コプト] (al-qibṭ, qibṭ) という名称はギリシア語でエジプトを意味するアイギュプトスという語に由来する。

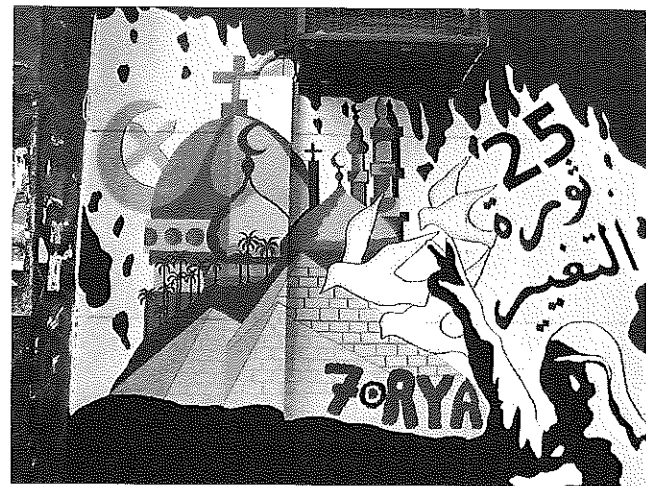


写真1 カイロの高級住宅街ザマーレク地区の路上に描かれたムスリムとコプトの団結を表わすグラフィティ 2011/7/28
教会とモスクの絵と「変革の革命」というメッセージが書かれている。
(以下とくに説明がない写真はすべて筆者撮影)

存在感が顕著になり、異なる宗教間の抗争も報道されるようになってきた。その例として、ムスリム同胞団が政党を結成し政治の表舞台に登場したことや、イスラーム初期世代（サラフ）における原則や精神への回帰を唱えるサラフィー主義者によりコプト教会が襲撃されるとい

一世紀にパレスティナで誕生したキリスト教はすぐにエジプトにもたらされ、七世紀にアラブムスリムが到来したところのエジプトは民の大半がキリスト教徒であった。⁽⁶⁾そのため当時のアラブムスリムは自分たちとの差別化を行なうため、土着のエジプト人（当時はキリスト教徒と



写真2 ミニヤ県S修道院内教会でのコプト正教会典礼風景 2011/7/15